

令和 8 年度 第 1 回 稲沢市地域公共交通会議 会議録

【日 時】 令和 8 年 7 月 2 7 日（月） 午前 1 0 時から午前 1 1 時 1 5 分まで

【場 所】 稲沢市役所 2 階 政策審議室

【出席委員数】 1 7 名（欠席者 2 名）

【傍聴者数】 5 名

【議事次第】

1. あいさつ（会長）
2. 報告事項
 - (1) 稲沢市地域公共交通について
 - (2) 稲沢中央線の路線及び時刻表の変更について
 - (3) 稲沢おでかけタクシー制度について
 - (4) コミュニティバス有料広告の掲載実績について
 - (5) 一宮市・岩倉市との共同ニーズ調査について
3. その他事項

【議事内容】

2. 報告事項

(1) 稲沢市地域公共交通について

事務局

資料 1 に基づき、令和 7 年度の実績を報告します。

- ・ コミュニティバス：稲沢中央線のうちアピタ稲沢店系統などが名鉄バスの自主運行路線となり、市は補助金制度で関わっています。利用人数は全路線で増加傾向にあり、コロナ禍前（令和元年）を上回る水準です。それに伴い、市の負担額は減少傾向にあります。
- ・ 追加便（タクシーによる対応）：バスの利用者増に対し、追加便の発生件数に大きな変動はなく、受け入れ能力は足りている状況です。
- ・ キャッシュレス決済：令和 6 年 10 月の導入以降増加しており、現在約 2 割の利用があります。

- **おでかけタクシー**：登録者・利用者ともに右肩上がりで、市の負担額も増加しています。目的地の半数以上が病院で、1回あたり1,500円（2～3km）の利用が多い一方、利用者の80%以上は年5回以下の利用に留まっています。
- **市の取り組み**：免許返納者への無料券交付、小学生への無料体験乗車券交付、選挙時の無料券交付などを実施し、利用啓発を行っています。

委員

タクシーによる追加便の運行件数で、祖父江・稲沢線が突出して多い理由は何でしょうか。需要があるなら2台運行の検討はできませんか。

事務局

祖父江稲沢線において、追加便が特に多いのは第3便（地泉院系統）になります。これは、アピタやヨシヅヤの开店時間（10時）に合わせた移動が多いためと思われます。費用面から直ちに2台運行へ変更するのは難しいですが、対応案の一つとして研究を進めさせていただきます。

会長

タクシーの追加便に頼りすぎると利用者に敬遠される恐れもあるため、車両サイズ（現在13人乗り）の検討も含めて対応をお願いします。

委員

おでかけタクシーとコミュニティバスの併用利用を促すためのインセンティブ（タクシー利用者にバスの割引券を渡す等）は検討されていますか。

事務局

現在は設定しておりませんが、今後研究を進めたいと思います。

(2) 稲沢中央線の路線および時刻表の変更について

事務局

令和8年10月1日より、名鉄バスの自主運行路線である稲沢中央線・矢合系統の路線を一部変更します。新たに完成した南北の道路を通ることで、距離短縮が図られます。これに伴い時刻表も修正されます。

委員

本件は協議事項ではなく、報告事項という認識でよろしいでしょうか。

事務局

はい、名鉄バス様の自主運行路線であるため報告事項とさせていただいております。

委員（名鉄バス株式会社）

補足ですが、稲沢支線付近の交通量増による遅延課題を見直すための時刻表変更でもあります。また、コミュニティバスと時間が重複していた区間を整理し、全体便数は維持しつつ利便性を確保する形としています。

(3) 稲沢おでかけタクシー制度について

事務局

- **事業者の廃業**：令和8年5月20日をもって委託先の1社（稲沢タクシー株式会社）が廃業しました。現在は残る2社で運行をすべてカバーしていただいています。
- **制度の見直し**：負担額の増加や利用者の偏りを是正するため、令和8年10月1日より「1回あたりの補助上限額を1,500円とする」「年間利用回数の上限を200回とする（超過時は翌々月から年度末まで利用停止）」の2点を変更します。

委員

年間200回の上限に達する前に、対象者に事前通知等のサポートはありますか。

事務局

年間170回に達した段階で、対象者へ郵送および電話にて予告通知を行う予定です。また、上限設定の制度変更自体については、広報8月号やタクシー車内でのチラシ配布等で周知を図ります。

会長

対象者はどのくらいいますか。また、この制度変更は報告事項で問題ないでしょうか。

事務局

制度変更を検討する際に使用した令和6年度のデータでは、年間200回以上利用した方が27名です。一番多い方で年間約500回利用されています。また、

対象者が高齢者・障害者・妊産婦に限定されており、一般的な公共交通の定義から外れるため、本会議では報告事項として扱わせていただきます。

(4) コミュニティバス有料広告の掲載実績について

事務局

令和8年4月より、コミュニティバスの両側面に有料広告（マグネット形式）を募集しています。年間1枠18万円で、8枠（4台×両面）中6枠が契約済みです。

委員

歩道から見えやすい「左側面」に人気が偏りやすいと思います。「右側面」を少し安くする等の工夫をしてはいかがでしょうか。

事務局

市としても左側面の人気が高いことは認識しております。右側面の料金設定を見直すなど、全8枠が埋まるよう検討いたします。

(5) 一宮市、岩倉市との共同ニーズ調査について

事務局

岩倉市から一宮市を経由して稲沢駅へ至るバス路線のニーズ調査を実施する予定です。現時点では詳細未定のため口頭での報告となります。

会長

岩倉市、一宮市、稲沢市でのニーズ調査とのことですが、国府宮駅周辺までの調査は行わないのですか。また、尾張一宮のパーキングエリアのスマートインターチェンジ化との関連はありますか。

事務局

現段階では、稲沢駅までの調査と考えています。また、ルート設定も未定のため、尾張一宮のパーキングエリアのスマートインターチェンジ化との関連は現状、無い案件であると理解しております。本案件はまだ基礎的なニーズ把握を行う勉強会的な位置づけです。進捗があり次第改めてご報告いたします。

3. その他事項

事務局

今年度の取り組みとして、8月頃に路線変更を行った「下津・大里線」を対象に、市職員がバスに同乗して利用者の目的地や利用実態をヒアリングする「OD調査」を実施する予定です。